

心臓血管外科

● スタッフ（平成29年10月1日現在）

診療科長 荻野 均
医局長 神谷 健太郎
病棟医長 小泉 信達
外来医長 西部 俊哉

医師数 常勤 11名
非常勤 7名

● 診療科の特徴

当科では、心臓疾患（虚血性心疾患、大動脈弁・僧帽弁狭窄閉鎖不全、慢性血栓塞栓性肺高血圧（CTEPH）、先天性等）、大動脈疾患（急性・慢性大動脈解離、胸部・腹部大動脈瘤等）、末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、バージャー病、下肢静脈瘤等）と幅広い心臓血管外科領域を網羅し、患者さんに最適と思われる治療を選択し治療しています。

また、複合緊急疾患を有する高齢者や重症患者の集学的医療のため、循環器内科、麻酔科、集中治療部など他科との連携し、密接な協力体制のもとに、最善の治療を提供するべく日夜診療を行っています。

<診療内容>

- ①心臓手術；冠動脈バイパス術（人工心肺を用いないOPCAB含む）や弁置換術などの標準的な手術はもちろん、Maze手術、左心室形成術、大動脈弁・僧房弁形成術などの自己弁温存手術（David手術）などの複合手術も行っています。
- ②大血管手術；胸部・胸腹部・腹部大動脈瘤や急性・慢性大動脈解離に対して、人工血管置換術を行っています。
- ③肺動脈血栓内膜摘除術（PEA）；慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）に対する、国内で数少ない手術可能な医療機関です。
- ④末梢血管手術；閉塞性動脈硬化疾患に対して下肢バイパス術（人工血管や自家静脈グラフト）や血栓内膜摘除術を行っています。
- ⑤低侵襲手術；体に負担の少ない低侵襲手術を目指し、上記の通常手術に加えて、ステントグラフト内挿術（TEVAR・EVAR）、血管内治療（PTA）、小切開開心術（MICS、OPCAB）を積極的に行っています。
- ⑥下肢静脈瘤手術；ラジオ波焼灼術（RFA）を行っています。
- ⑦緊急性の高い急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、急性心筋梗塞、急性動脈閉塞症に対して、CCU、ICU、救命救急センターと協力して緊急手術に対応しています。

● 診療体制と実績

入院患者総数；626（平成29年4月～平成30年3月）

手術件数；485（平成29年1月～12月）

自己弁温存手術（David手術）；大動脈基部の病気に対して、自分の大動脈弁を温存つまり大動脈弁を取り替えない

手術です。一般的にはDavid手術と呼ばれ、特殊な技術が必要です。積極的な導入により特に若年の患者様にとっては、ワーファリンなどの抗凝固薬から解放されとてても有意義と考えます。

肺動脈血栓内膜摘除術（PEA）；慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）に対する手術です。肺動脈内の肥厚した血栓や内膜を摘除して、肺動脈の血流を改善させ、息切れや呼吸苦を改善します。国内では数少ない実施施設であり、国立循環器病センターに匹敵する症例数を誇ります。また、循環器内科とも協力しカテーテル治療を併用したハイブリット治療も行なっています。

ステントグラフト治療；大動脈瘤に対して、体への負担の少ない低侵襲治療を目指し、ステントグラフト内挿術を積極的に行なっています。ステントグラフト治療数は都内でも有数の症例数を誇ります。標準手術である人工血管置換術も行っており、患者様により適した治療を選択しています。

領域	手術件数
心臓	101
血管	384
合計	485

領域	術式	件数	内訳
心臓		101	
	冠動脈バイパス		38
	弁置換・弁形成		39
	肺動脈血栓内膜摘除（PEA）		16
	その他		8

領域	術式	件数	内訳
血管		384	
胸部	人工血管置換		53
	ステントグラフト（TEVAR）		42
腹部	人工血管置換		14
	ステントグラフト（EVAR）		71
末梢	血行再建		19
	血管内治療（PTA）		68
	その他		32
静脈	静脈瘤		31
	その他		2
HD	ブラットアクセス		52